

講座名:「ドイツ語で『アンネの日記』を読んでみよう」 【ドイツ語初中級講読】

開講時期: 2026 年 9 月 14 日 (月), 15 日 (火), 16 日 (水), 17 日 (木), 18 日 (金)

開催時間: 16:00-17:30

開催形式: 対面 (東京外国語大学研究講義棟) とオンライン (zoom) のハイブリッド

使用教材: 教材は講師が事前にメールでお送りいたします。

内容:

本講座はドイツ語の文法をひとつとおり学び終え、辞書を引ながら平易な文章を読むことができる方を対象としています。ドイツ語学習者向けにドイツで出版されている『アンネの日記』の講読を通して、「ふつうの人々」の戦時下の生活に触れることを目指します。特に本講座では、アンネのような「ユダヤ系ドイツ人」の歴史について焦点を当てています。

『アンネの日記』は子供向けの読み物として扱われがちですが、私たちと等身大の人々が何を考えて戦時下を生きていたのかを伝えてくれる、大人も楽しめる作品です。歴史的な背景知識は必要ありません。「ある程度ドイツ語を勉強したので文章を読みたい」「でも子供向けの文章ではつまらない」「ドイツの歴史について触れてみたい」。そんな方におすすめしたい講座です。

受講者の方には毎回 2 ページ程度の予習をお願い致します。本講座ではドイツ語の解説、ならびにテーマに沿った背景知識を補う解説を用意しています。

本講座は東京外国語大学国際社会学部による「国籍・市民権・法的地位等を理由にした人権侵害防止のための声明」に準拠します。

※参照: https://www.tufs.ac.jp/documents/education/ia/jinken_2026.pdf

授業計画:

第 1 回:「等身大としてのアンネ」

第 2 回:「ユダヤ系ドイツ人組織とシオニズム」

第 3 回:「隣人への迫害」

第 4 回:「ドイツに残された人々: 混合婚」

第 5 回:「ユダヤ系ドイツ人のその後: 第二次世界大戦後、アンネたちはどうなったか」

※各回の授業内容に多少の変更が生じる場合がございますが、どうぞご了承ください。